

今、博学連携に求められるもの ～現状の共有と連携の深化について～

鳥取市文化財団は、地域の子どもたちに豊かな学びの場を提供することを大きな柱としています。そのために博物館と学校がどのように連携していけばよいかをテーマに、修立小学校木本校長と木合理事長に語っていただきました。

●本物体験を通して感じる

「博学連携だより」二十号という節目で、これからの博学の展望についてお二人からお話していただきたい。

木本 施設に行ったり、学校に来ていただいたて火起こし体験や勾玉を磨いたりなど「本物に触れる学び」に代わるものはない。匂い、触感、重さなどはICTでは味わえない。子どもにとって、成長する上でとても大事。私は、泥団子を作って校長室の前に置いてるが、興味をもった子に田んぼ土を渡すとき、かびかを作ってくる。子どもたちは「本物体験」が大好きです。

国で進められていて、コロナ禍で前倒しになりこの四月から始まる。子どもたちが全員一人一台タブレットをもち、教室で調べたいと思ったら図書室に行くのではなく、すぐその場で調べ。学校は劇的に変わる。映像ならタブレットで見られるから博物館で見られるという魅力がない。行ったら触れる、作れる、生の話が聞ける、質問に答えてくれる、としたらすごい魅力的。「モノが語る、人が語る」はびつたりです。

木谷 大切なことをお聞きした。学校がそれだけ変わるならば、博物館もギガスクールに対応しなければ。

木本 文化財団のHPはイベント案内、展示案内で、子どもが見ても面白くない。例えば調べ学習でメーカー名を打ち込むと自動車について学習するコーナーがある。クイズ形式で子ども向けのコンテンツがあれば子どもは見ると興味をもった子は実際に行って調べると思う。博物館はギガスクールに耐えられる子ども向けのコンテンツを充実させるのが今の時代に合っている。タブレットを使う学習場面が多くなる一方でそれだけが人間にとって必要なことではない。実際にノートに書く力もある。それが本物ですよ。タブレットから入った幼児が絵本のめくり方を知らないで本を指でこするんだけど動かないので面白くないと言う。恐ろしいことだが親が最初に与えるものを間違えた。学校でも一年生からタブレットを渡すようになるから使い方の注意点を教える必要がある。博物館はそれに

対応した発想を広げてもらうというと思う。

木谷 具体的にどうしていくか、学習コーナーに何を意識していくか。学芸員は主に調査研究、収集保存を日常的な職務としてやっていて、子どもたちの教育に慣れないので、先生たちの知恵をお借りしながらやっていきたい。

木本 子どもが自分の手で勝ち取ったものに代わるものはないので、大人はじっと待つ子どもが困ったときに助けるのがある、学校も時間の制約があつてなかなかできない。

●博物館に行けば、触れる、聞ける

木本 県立博物館の出前授業で美術品をもつてこれがあるが、触つてはいけなと言われのと触つていいと言われるのでは子どもたちの興味関心が全然違う。触ることで、こんなふうに作つてあるんだ、かっこいい、重いなあなどと反応が出てくる。子どもも要求にびつたりするのでしようね。

木谷 収蔵品は全部が触つてはいけなわけではないので、二〇年前の人たちが読んでいたのはこんなのだと江戸時代の和本のページをめくってみるとかできるかもしれない。

木本 学芸員さんはすごいと思う。バラバラの土器をくっつけるなど何故できるのか。はやぶさの塵と同じで、それが何につながるのかが解っている。専門性を持つているからですね。これを子どもにも理解させるのは難しいが、子どもをただの物知りにするのが博学連携の目的ではない。ただの物知りならイン



木谷 清人(きたに きよひと)
鳥取市文化財団理事長、鳥取民藝美術館常務理事、前鳥取市歴史博物館館長、一級建築士。鳥取の民芸を調査研究、吉田璋也を掘り起こし次世代に民芸の価値を伝えている。学術だけでなく、文化財の保護活用、ものづくり、まちづくりなどの実践にも力を入れている。

ターネットでできる。そのものの持つ意味が解るとか、そのものに思いをはせるとか、きつかけづくりが大事。

●人が語る／キャリア教育

木本 地味な仕事だけど、それが大事だというのが博物館に行くのと解る。そういうのが本当の深い連携じゃないかな。学芸員さんには、なんでこんな仕事をしているか、その思いを遠慮なく話してもらいたい。子どもたちに将来やりたいことを聞いたら、みんなユニバーサル。楽しんで稼げて、それが楽しいと思ってる。だけど学芸員の仕事にも楽しさがあるでしょ。われわれもそうです。学校の教員は今人気のない仕事です。でも若い先生はこの仕事についてたことを後悔してほしくない。そういう気持ちで学校を経営している。楽しいなあというのを味わってもらいたい。博学連携もこんな仕事があるというキャリア教育の側面があると思う。そういうのもお互いが理解を深め裾野を広げることになるんじゃないか。

木谷 学芸員が出前授業に行っても先生方や子どもたちと話す時間がなかなか持てないでいる。

●出前授業はおまかせで

木本 学校は外に出かけることが非常に難しいので、出前授業に来ていただくのはとてもありがたい。お任せにさせてもらえば非常に助かる。打ち合わせに時間がかかるのと数居が高くなってしまう。働き方改革で先生方の時間のやりくりはたいへん厳しい。両方の関係性が深くなっていれば、ああいいですよとなる。教員は視点をもって授業の後づけをする。その時間だけで完結しようとする学芸員さんにとつてもハードルが高くなる。限られた時間でやり方については割り切る必要がある。

木谷 万葉歴史館では万葉集朗唱の会に近くの学校の子どもは参加しているが、遠くの学校なら万葉の衣装をもつて行つて体験学習などもできますね。

木本 体験できるほうが面白い。能の学習では、扇子をもって面をつけて子どもが足りなくて悲しそうになる。同じ面だけ下を向くと悲しそうになる。か表情の変化も教えてもらう。そんな学習だったら、子どもはいくらでもいってきます。

●本物を見ることが大事

木本 そうですね。それをビデオで見ると面白くない。

木谷 我々のもう一つの使命は郷土愛の醸成、子どもたちに地域を好きになつてもらふこと。そのためにモデルケースを作つてパッケージ化し、具体的な活動を進めていけたらと思う。

木本 いろんなことができるんですかと聞いたら、こんなパッケージあります。それじゃBでもお願いしようということができる。人々を育てるという感覚をもち、地域や学校に開かれた施設にしていくなが必要なのですね。

木谷 参考になるお話を聞かせていただきました。いかに提案していけるか。これからのような情報交換も含めて連携していきたいと思しますので、よろしく願います。



（司会）金指真澄／博学連携プロジェクトチームリーダー）



木本 泰朗(きもと たいろう)
鳥取市立修立小学校校長、鳥取市小学校長会会長、鳥取県教育委員会、鳥取市教育委員会指導主事、鳥取市立小学校校長等を歴任。子どもたちにワクワクする体験をさせ、教員自身がワクワクする実践を長年にわたって行っている。

木谷 やまびこ館が二十年前開館したときは収蔵品がない博物館だった。展示はすべて当時流行していたマルチメディア展示。この度のリニューアルにあつてどういう博物館にするのかを話し合い、物も集まつてきたので「モノが語る、人が語る博物館」を目指そうということになった。体験コーナーを設け、学習スペースには職員が常について説明などができるように方針転換した。

●ギガスクール構想で学校は激変

木本 学校ではギガスクール構想が全

公益財団法人鳥取市文化財団 博物館・学校連携推進プロジェクト

博学連携だより

20号
2021年3月31日

発行
(公財)鳥取市文化財団
博学連携推進プロジェクト
事務局・問い合わせ先
鳥取市文化財団事務局
鳥取市因幡万葉歴史館

歴史が織りなす鳥取のあゆみ

およそ三年の準備期間を経て、やまびこ館地下常設展示室が一新しました！
新たなコンセプトは「モノが語る、人が語る博物館」。みなさんに鳥取のあゆみを紹介する展示室は、二つのゾーンからなる二本立てになりました！

展示ゾーンでは縄文時代から平成までの鳥取全域の歴史のエッセンスを実物資料と絡で紹介しています！そして、もう一つのゾーンが「まなびのひろば」です。講演会やワークショップ、ミニ展示などのイベント会場となる他、ご来館のみなさんに自由に学んでいただくことのできる場所をつくりました！

ゾーン1 展示内容をちよつとだけ紹介！

○先史(縄文・弥生・古墳時代)

縄文時代～古墳時代までの鳥取の出土遺物と遺跡を紹介しています。栗谷遺跡出土遺物(国指定重要文化財)をはじめ貴重な考古遺物を展示しています。

栗谷遺跡出土遺物
(深鉢、国指定重要文化財)



○古代(奈良・平安時代)

奈良・平安時代の因幡国について紹介しています。ここでは平安時代の因幡国司・平時範の仕事を紹介するアニメーションが視聴できます。



梵鐘(国指定重要文化財)
本願寺蔵(鳥取市歴史博物館寄託)

○中世(鎌倉・室町・戦国時代・織豊期)

鎌倉～織豊期までの因幡の歴史を紹介しています。やまびこ館が所蔵する、近年鳥取県指定保護文化財に仲間入りした室町・戦国時代の資料の他、天正九年鳥取城攻めでの「飢え殺し(かつえころし)」と称される羽柴秀吉の包囲網を検証した模型を、ご覧いただけます。

○近世(江戸時代)

鳥取城主池田家、城下町と農村、職人や町人の文化など江戸時代の鳥取について幅広く展示しています。



天正9年の鳥取城攻めの羽柴秀吉の包囲網を体感できる模型

ゾーン2 活用方法をちよつとだけ紹介！

「まなびのひろば」では、自分で知りたいことを自由に調べることが出来ます！

やまびこ館の資料や古写真の検索はもちろん、やまびこ館が作成した映像を視聴できる映像アーカイブコーナー、双六や土器パズルなどでまなべるキッズコーナー、そして、常設展示室では展示できなかったやまびこ館のイチオシ資料を不定期に更新する展示コーナーがあります。

相談コーナー

スタッフに気軽に質問して下さい！



学芸員 石井 伸宏

NEW! まなびのひろば

学習コーナー

キッズコーナーやアーカイブ、参考図書などを通じて、調べて！見て！聞いて！触て！自由に色々体験して楽しみながら学んで下さい！

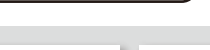
大人から子どもまで、イベント参加でも一人での利用も。「まなびのひろば」は無料でご利用いただけますので、お気軽にお越し下さい！



銅鑄をたたいてみよう！
どんな音がするのかな？



土器パズルに挑戦してみよう！



昭和30年代に使用されたコンクリート製ゴミ箱

鳥取城紹介パネル

水害時避難用の舟

令和十八年の鳥取大地震、昭和二十七年の鳥取大火を中心に、近世以降の鳥取の災害について紹介しています。鳥取大地震と鳥取大火を紹介する映像も視聴できます。

お気軽に
ご相談下さい！

展示内容などの質問
やご確認、博物館見学
のご相談も随時受け付けて
おります。お気軽にお
電話下さい。

〈お問い合わせ先〉
TEL0857-23-2140

鳥取市歴史博物館 やまびこ館
〒680-0015 鳥取県鳥取市上町88
TEL.0857-23-2140 FAX.0857-23-2149

鳥取市あおや郷土館
〒689-0501 鳥取県鳥取市青谷町青谷2990-4
TEL-FAX.0857-85-2351

国指定重要文化財 仁風閣・宝扇庵
〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2-121
TEL.0857-26-3595 FAX.0857-22-4699

鳥取市青谷上寺地遺跡展示館
〒689-0501 鳥取県鳥取市青谷町青谷4064
TEL.0857-85-0841 FAX.0857-85-0844

鳥取市埋蔵文化財センター
〒680-0007 鳥取県鳥取市湯所町1丁目148-2
TEL.0857-22-0366 FAX.0857-21-6096

鳥取市あおや和紙工房
〒689-0514 鳥取県鳥取市青谷町山根313
TEL.0857-86-6060 FAX.0857-86-6061

鳥取市因幡万葉歴史館
〒680-0146 鳥取県鳥取市国府町町屋726
TEL.0857-26-1780 FAX.0857-26-1781

城下町とつり交流館 高砂屋
〒680-0046 鳥取県鳥取市元大工町1
TEL.0857-29-9024 FAX.0857-29-9039

◎開館時間：9時～17時 ◎休館日：毎週月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(鳥取市あおや和紙工房、高砂屋のぞく)、年末年始12/29～1/3 ただし、鳥取市埋蔵文化財センターは除く

公益財団法人 鳥取市文化財団

〒680-0831 鳥取市栄町655 TEL.0857-23-2410 FAX.0857-23-2420
HP http://www.tbz.or.jp/ E-mail info-center@tbz.or.jp



- ★学芸員、スタッフ、ボランティアガイドがご案内します。
 - ★学校利用の場合、引率者を含め入館料は無料です。
 - ★見学プログラムを希望される場合は、必ず事前に各施設にご連絡下さい。
 - ★実施時期によっては、ご希望にそえないこともありますので予めご了承下さい。
 - ★①～⑯以外のテーマについても可能な限り対応させていただきます。
- 各施設にお尋ね下さい。

鳥取市歴史博物館 やまびこ館

① 鳥取のお殿さま

- 場所** 鳥取市歴史博物館
- 時間** 30分～1時間
- 内容** 中世～近世の鳥取のお殿さまについて解説します。江戸時代の鳥取藩の成り立ちや藩主池田家について解説します。また、池田家だけでなく、室町時代の守護大名・山名氏や、天正9年鳥取城攻めの後に因幡に入った、豊臣秀吉の時代の大名・宮部継潤、亀井茲矩など、因幡地域各地の「お殿さま」について対応可能です。

② 戦国時代の鳥取

- 場所** 鳥取市歴史博物館
- 時間** 30分～1時間程度
- 内容** 天正9(1581)年の鳥取城攻め(羽柴秀吉(織田方)と吉川経家(毛利方)による鳥取城で戦い)の他、江戸時代以前の因幡(鳥取県東部地域)の歴史についてご案内します。アニメーション「鳥取城をめぐる世界」をご覧いただける他、それ以外の内容や時代(亀井茲矩、山名氏などの人物について、平安時代～戦国時代の地域の歴史)など、可能な限りご要望に応じて対応いたします。

③ 鳥取城と鳥取城下町～池田家と江戸時代の鳥取～

- 場所** 鳥取市歴史博物館
- 時間** 30分～1時間程度
- 内容** 江戸時代を中心に、鳥取藩主の居城・鳥取城と鳥取藩を支えた城下町のなりたち、そして鳥取の中心市街地のあゆみなどについて、常設展示の映像をご覧いただける他、鳥取城主・池田家についての解説など、近世の鳥取城、鳥取城下町に関わる内容について広く対応いたします。

④ 昔のくらしと道具

- 場所** 鳥取市歴史博物館
- 時間** 30分～1時間
- 内容** 江戸時代から近代、そして現代にいたる昔の生活についてご案内します。江戸時代の生活については江戸時代終わり頃の千代川流域の農村を描いたアニメーション「太郎一家の農村生活」をご覧いただいで学習していただけます。それ以降の時代についてはご要望に応じて昔の生活資料を使ったプログラムを、ご相談に応じて対応いたします。

⑤ 鳥取と災害

- 場所** 鳥取市歴史博物館
- 時間** 30分～1時間
- 内容** 鳥取で起こった災害、地震、火事について、鳥取大地震(1943)、鳥取大火(1952)を中心にご案内します。被害状況を写した古写真や映像などをご覧いただき、災害から見た、江戸時代～現代までの鳥取のあゆみについてもご案内いたします。



鳥取東照宮(随神門)

⑥ 樗谿公園と鳥取東照宮

- 場所** 鳥取市歴史博物館・樗谿公園・鳥取東照宮(現地解説)
- 時間** 45分～(45分以下の場合、東照宮・公園のどちらかになります)
- 内容** やまびこ館に隣接する樗谿公園と鳥取東照宮をご案内します。樗谿公園には袋川で使われていた屋形船や、鳥取市の梅の標準木があります。また歴史的には、樗谿公園は寺院や神社の境内地だった時代もあります。現地を歩きながらご案内します。

⑦ クイズ・オリエンテーリング(解説付き)

- 場所** 鳥取市歴史博物館内(自由見学+解説)
- 時間** 45分～1時間(例:30分自由見学、15分解説)
- 内容** 児童のみなさんには、やまびこ館の常設展示室(特別展示室)に関するクイズに答えながら、展示を自由に見学してもらいます。見学終了後、問題の答えあわせをしながら、解説していきます。

⑧ 鳥取が経験した戦争

- 場所** 鳥取市歴史博物館
- 時間** 30分～1時間
- 内容** 鳥取県東部は大規模な空襲被害はありませんでしたが、市民及び県民は戦争の犠牲となり、食料や物資も不足するなど制限された生活を過ごしました。また、鳥取県東部には鳥取市岩倉周辺に「歩兵第四十連隊」などの歩兵連隊があり、鳥取の誇る観光地「鳥取砂丘」はその兵士たちが訓練を行なった場所でした。そして、兵士たちは戦地に出征、過酷な戦場で多くの尊い命が犠牲となりました。これら戦時中の鳥取及び軍隊と戦争について、当時の写真や記録資料をもとに紹介していきます。

鳥取市因幡万葉歴史館

⑨ 万葉と神話の庭で 万葉集をみつけよう!

- 場所** 鳥取市因幡万葉歴史館(万葉と神話の庭)
- 時間** 30分～1時間
- 内容** 万葉集ってなんだろう?むかしの人はどうやって歌を詠んだの?そんな素朴な疑問の答えを、万葉集に歌われた万葉植物の庭園で万葉集の歌探しをしながら見つけます。和歌とともに、古代の人が歌った木々や花々への思いを体感できます。

⑩ 国府の歴史・文化をさぐる

- 場所** 鳥取市因幡万葉歴史館
- 時間** 1時間程度
- 内容** 因幡国府で花ひらいた古代の文化や貴重な遺跡、麒麟獅子舞や因幡の傘踊りなど民俗文化の解説をします。



鳥取市因幡万葉歴史館展示室

鳥取市文化財団各施設

見学プログラム

におまかせ!

仁風閣

⑪ 明治の洋館と 鳥取藩主池田家 一族の歴史

- 場所** 仁風閣
史跡鳥取藩主
池田家墓所
- 時間** 1時間～3時間
- 内容** 国重要文化財である仁風閣はいつ、なぜ建てられたのか、その歴史をひもとくと、現代の鳥取の町の歴史につながっていきます。近代鳥取の動乱をみつめた仁風閣から、地域の歩みをふりかえります。
- ※歴代藩主の眠る史跡池田家墓所への見学も可能です。



国指定重要文化財 仁風閣

鳥取市あおや郷土館

⑫ 山陰海岸ジオパーク 鳴り砂の浜と夏泊

- 場所** 鳥取市あおや郷土館 青谷海岸・夏泊神社・夏泊
- 時間** 1時間～2時間(移動時間を含む)
- 内容** 鳥取市あおや郷土館で鳴り砂のしくみや、夏泊の海女漁について学びます。その後、現地にでかけます。天候がよければ青谷海岸を歩いて鳴り砂の音を聞いてみましょう。夏泊神社では青谷出身の江戸時代の石工・川六(かわろく)が作った狛犬や鳥居を見学できます。また近くには獅子岩などの奇岩も見ることができます。青谷のさまざまな自然や歴史にふれてみませんか。



鳴り砂の展示

鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

⑬ 体験、体感、弥生人!

- 場所** 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館
- 時間** 見学30分～・体験30分～
- 内容** 青谷上寺地遺跡から出土した貴重な品々を見学して、弥生時代について学びます。ものづくり体験も可能です。
- ※体験参加人数によっては、受け入れ時期、体験場所の調整が必要になります。お早目にご相談下さい。
- ※土笛づくり・ミニ土器づくりは乾燥に数日かかります。



展示室「青谷上寺地の衣・食・住」

- 鑄造体験 …………… 800円
- 土笛づくり …………… 300円
- ミニ土器づくり …… 300円
- 麻ひもコースターづくり …… 300円
- かごづくり …………… 300円
- 組紐づくり …………… 100円
- 滑石勾玉づくり …… 400円

バス利用を支援します ～博物館★MUSEUMをめぐる事業～

財団施設までの移動手段として、バスを借り上げて学校に貸し出します。

- ① バス貸借費用を1校につき**上限50,000円**、2台以上の場合および2校以上合同の場合は、**上限100,000円**まで補助します。上限を超過した経費については各校で負担していただきます。
- ② 利用に際しては、財団施設の見学プログラムのうちから2つ指定して下さい。(青谷スペシャルは1つでも可)
- ③ 同日に財団施設以外の社会見学を行う際は、各校でスケジュール調整して下さい。

【利用の流れ】

- ① 鳥取市因幡万葉歴史館・博学担当(0857-26-1780)にご希望のプログラムと日時をお知らせ下さい。
- ② 行程が決まりましたら、所定の書式に記入してFAX(0857-26-1781)して下さい。(3週間前までに)
- ③ 鳥取市文化財団がバスを手配してお知らせします。規定額を超えた場合は請求させていただきます。



鳥取市あおや 和紙工房

⑭ 和紙の里でつくる。 世界にひとつだけの和紙

- 場所** 鳥取市あおや和紙工房
- 時間** 1時間～1時間30分
- 内容** 伝統工芸品である因州和紙について技術、歴史などを学ぶことができます。さらに、自分でデザインした手すき和紙づくりを体験することもできます。
- ※一度に制作体験できる人数は40名程度です。それ以上の人数であれば交代で制作することがあるため、青谷町内の他の施設見学と合わせて利用することをお勧めします。



紙すき体験

- A3 1枚 …………… 500円(20名以上400円)
- A4 1枚 …………… 400円(20名以上320円)
- ハガキ1枚 …………… 300円(20名以上240円)
- A3 スタンドランプづくり… 2,000円(20名以上1,900円)
- A4 ミニランプ(3色) …… 800円(20名以上720円)
- (7色) …… 1,000円(20名以上920円)



体験による
オリジナル和紙

青谷スペシャル

⑮ 青谷のジオサイトをめぐろう

- 場所** 鳥取市あおや郷土館 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館
鳥取市あおや和紙工房
- 時間** 2時間～2時間30分(各施設30分～45分、青谷町内での移動時間含む)
※市街地からの移動時間 片道約25分(鳥取西IC～青谷IC)
- 内容** 青谷町内の3施設をめぐるります
- ★鳥取市あおや郷土館
鳴り砂や海女の生業などのほか、ジオパークについて学びます。



夏泊神社

- ★鳥取市青谷上寺地遺跡展示館
弥生時代の生活や弥生人について学びます。
- ★鳥取市あおや和紙工房
鳥取県を代表する産業である、因州和紙の里で、和紙について学びます。紙すき体験もできます。

城下町とっとり交流館 高砂屋

⑯ 明治時代の商家の建物

- 場所** 城下町とっとり交流館 高砂屋
- 時間** 30分～1時間
- 内容** 明治時代の商家の建物と蔵を見学して、建物のつくりと当時の鳥取の城下町の様子について学ぶことができます。



企画展示に使われる西蔵